



編集後記

編集顧問	小川秋實	秋元成太	村井 勝
	郡健二郎	藤岡知昭	
編集委員	大家基嗣	近藤幸尋	小島祥敬

大河ドラマの影響は恐ろしいものがあります。今年は紫式部が主人公の「光る君へ」です。源氏物語が注目されていて、私の故郷である京都府宇治市にある「源氏物語ミュージアム」が賑わっていると聞きびっくりしました。源氏物語54帖の最後の10帖は宇治が舞台であり、宇治十帖と呼ばれています。開館した1998年当時は、「税金の無駄遣いとちゃう。」とか、「他に宇治をアピールするものがないからなあ。」とか賛否両論だったのを覚えています。案の定、閑古鳥が鳴いていて、コロナ禍ではさっさと閉館していました。

日本が誇る世界の古典文学「源氏物語」の素晴らしいところは語り尽くされています。宇治出身者である私の思い入れは、宇治十帖にあり、美しい宇治の自然も後押しして、御一読を願うものであります。源氏物語は膨大なる長編小説なので、最後の10帖にたどり着くのは大変ですが、光源氏の死後の物語は、神話の世界から現実の世界へ引き戻された気がいたします。

主人公は薫と匂宮、女性は大君、中君、そして浮舟です。薫が大君に一目惚れすることが事の始まりで、一気に物語が展開していきます。薫と匂宮は光源氏のような類まれなる人物ではなく、等身大の男性です。

性格は対照的で、真面目で慎重だけど融通性にかける薫と、思慮に欠けるが行動的で華やかな性格の匂宮との対称が描き分けられています。性差スペクトラムを引き合いに出すと、男性要素100%、女性要素100%とキッパリと分けられないように、自分の中で薫の要素と匂宮の要素が入れ子になっていることに目覚めさせられます。3人の女性は男性の想いに応えるとは限らず、強力な意思が働いて拒むところでは拒みます。その根拠が亡父の遺訓、男性への不信、立つかもしれない世間の評判などです。男性から見て納得が行かない根拠を強く信じる女性像は何度か編集後記で取り上げさせていただきました（2018年4月、7月号；2019年1月号）。千年変わらない男女のすれ違いの本質を描いているのです。

女性はどう見ているのでしょうか？ 浮舟に共感する女性が多いのでは？ 源氏物語ミュージアムを訪れ、聖地巡礼を行う観光客はほとんど女性です。宇治川沿いには浮舟のお墓がございます。平等院だけを訪れ、茶だんごを食べて京都市内の宿に戻り、宇治は遠かったとぼやく男子に告ぐ。それではもったいない。いま、宇治十帖の聖地巡礼が推しです。

(大家基嗣)

臨床泌尿器科 (第78巻 第8号) (通巻940号)
2024年7月20日発行 (毎月1回20日発行)

定価：3,190円 (本体2,900円+税10%)

2024年年間購読料
(増刊号を含む13冊、税込、送料小社負担)
冊子版 47,300円
電子版 (個人) 43,824円
電子+冊子版 (個人) 49,324円

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5724
(担当：上甲・今田)

販売・PR部直通 (03) 3817-5650

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

印刷所 ㈱双文社印刷

広告取扱 ㈱文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

別刷取扱 販売・PR部 電話 (03) 3817-5696

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2024. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為 (複写、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

* 「臨床泌尿器科」は株式会社医学書院の登録商標です。